

付表2 令和 2 年度 当初要求 事業予算調書

新規・継続	継続事業	通算	3年目
-------	------	----	-----

所管課名	浜)地域振興課	予算事業名	地域自治区振興事業費		一般 会計	2 款	3 項	6 目
関連所管課名	商工労働観光課	事業名	増毛山道トレッキング事業1/2	事業通番	重点施策	(2) 豊富な自然資源を活用したまちづくり		
				予算要求区分	政策経費	総合戦略	4.	(1) 観光資源を生かした交流人口の誘導

要求額	260 千円
( )	260
査定案	
【財源内訳】	
国庫支出金	( )
道支出金	( )
市債	( )
その他財源	( )
一般財源	260
( )	260
特定財源名及び補助率・充当率	
浜益地域づくり基金	
【補助率】	事業費の1/2以内
【充当率】	100%

◎事業の概要

【目的】  
平成28年10月に幌～増毛町別荘間の再生が完了した「増毛山道」を活用してトレッキング事業を開催することにより、浜益区の観光資源もPRしながら交流人口の拡大を図るとともに、歴史的な地域資源としての魅力を高めることを目的とする。

【石狩市浜益区の魅力】

- 豊富な自然観光資源
- 良質な特産品
- 歴史・文化の継承

【観光客のニーズ】

- 自然体験・体感型傾向
- 癒しの空間を追究

【関係団体】

- 事業実施団体（こがね山岳会）
- 事業への連携・協力（石狩森林管理署、留萌振興局、石狩振興局、

→ 新たな観光資源の活用！  
浜益観光の魅力を発信・実行！

【対象者】  
登山愛好家、自然散策愛好家、古道愛好家等

【実施内容】  
こがね山岳会（会長 渡辺千秋）が事業を実施する。8月（予定）に以下の3コースで「ガイド付きトレッキング」を開催する。  
(1)「山の日」（初級者向け）トレッキング 浜益区幌～浜益御殿往復（約8km・定員10人）  
(2)上級者向けトレッキング 浜益区幌～雄冬山～岩尾温泉（約17km・定員15人）

【実施方法(手段)】  
・参加取りまとめは増毛山道の会事務局が窓口となってフォローし、当日はこがね山岳会会員主体となり事業を実施する。  
・各レベルに応じたコース設定を行い、一般から上級者までが参加しやすいメニューを設定し、あわせて地域の魅力をPRするため参加賞の配布を行う。  
・山道入り口までの林道はマイクロバスを用意し、駐車スペースの不足をカバーし参加しやすい環境を整える。

【事業費の積算根拠】  
別紙

【関連する個別計画及び成果指標】  
個別計画－（石狩市浜益地域づくり基金条例） 石狩市、厚田村及び浜益村の合併に伴い、合併前の浜益村の区域における市民の意思を反映した特色のある地域づくりを図る。

今後の方向性	現状維持
関連する個別計画	
施策名	
成果指標名	
指標名	実績(直近)
PDCAサイクルの実施	実施していない
新年度予算への反映	実施していない

①事業の実績

R1実績

・「山の日」（初級者向け）トレッキング	8/10	20名
・中級者向けトレッキング	9/7	20名
・上級者向けトレッキング	9/21	15名

年度	日程	参加者
H29	(8/11, 9/16, 9/30)	57人
H30	(8/11, 9/8, 9/22)	53人
R1	(8/10, 9/14, 10/5)	55人

(単位:千円)

《財政課記入欄》	今後の見込み	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6以降	合計
	事業費	260	260	260	260	260	260	260	1,820
	国庫支出金								0
	道支出金								0
	地方債 ( )								0
	その他 ( )								0
	一般財源	260	260	260	260	260	260	260	1,820

※注意事項 ①レイアウトは自由ですが、表記の項目は必ず記載すること ②事業費の積算資料（見積書・設計書等）があれば添付のこと（原則A4版） ③必要に応じ図面等を添付すること

付表2 令和 2 年度 当初要求 事業予算調書

新規・継続	継続事業	初年度
-------	------	-----

所管課名	浜)地域振興課
------	---------

予算事業名	地域自治区振興事業費
-------	------------

一般 会計	2 款	3 項	6 目
-------	-----	-----	-----

関連所管課名	商工労働観光課
--------	---------

事業名	増毛山道トレッキング事業2/2	事業通番	
-----	-----------------	------	--

重点施策	(2) 豊富な自然資源を活用したまちづくり
------	-----------------------

予算要求区分	政策経費
--------	------

総合戦略	4.	(1)	観光資源を生かした交流人口の誘導
------	----	-----	------------------

要求額	千円
( )	
査定案	
【財源内訳】	
国庫支出金	( )
道支出金	( )
市債	( )
その他財源	( )
一般財源	( )
特定財源名及び補助率・充当率	

②今後の事業計画、見直し点  
「増毛山道と濃屋山道」は道民にとっても貴重な遺産（北海道遺産）である。  
・石狩森林管理署、留萌振興局、石狩振興局、増毛町、増毛山道の会、石狩市体育協会などと連携し有効活用を図る。  
・歴史山道の活用を今後も展開するため、ガイド後継者を育成し、こがね山岳会の事業推進力を向上させる。  
・地域への理解を深めるためのPR活動を実施する。  
・案内板や危険排除など周辺整備等によりホスピタリティの向上を図る。

③ステークホルダー  
増毛山道の会（黄金山岳会）実施主体 復元した山道の保全管理とトレッキングなどを行いながら貴重な遺産を継承  
行政機関 活動の支援 所管施設の利用許可及び施設整備や情報発信機会の提供。  
体育協会 事務局支援 山岳を活用した健康増進やガイド育成。事務局運営のフォローアップ

③課題等  
これまでの実績から見える問題点  
1 地域(浜益区)住民の認知の薄さやホスピタリティ及びホスピタリティマインドなど地域全体として認知や意識の醸成。足元での理解が進まなければ、尋ねられても案内できない。活動の継続性や継承に懸念。  
2 山道関係者と地域の活動団体との連携の希薄さ。  
3 施設未整備であるため、利活用に制限がある。

③関係者との協議の状況  
4/20 総会  
6/29 講演会  
※ 例年春に総会で実施計画を定めて活動を展開している。

④今後の事業の方向性  
PR活動を展開し地域の財産として認知度を高め、山道を利活用しながら地域の活性化を担う活動を展開する。  
復元の功績が認められ北海道遺産となっており、今後の活動は拡大していくと思われるが、自然環境の利用には当然リスクも伴うので、安全面を熟考しながらの活動を継続する。

⑤財源の検討  
浜益地域づくり基金を活用

今後の方向性	
廃止または完了	
関連する個別計画	
施策名	
成果指標名	
指標名	実績(直近)
PDCAサイクルの実施	
新年度予算への反映	

《財政課記入欄》	今後の見込み	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6以降	合計
	事業費								0
	国庫支出金								0
	道支出金								0
	地方債 ( )								0
	その他 ( )								0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0	0

※注意事項 ①レイアウトは自由ですが、表記の項目は必ず記載すること ②事業費の積算資料(見積書・設計書等)があれば添付のこと(原則A4版) ③必要に応じ図面等を添付すること

令和2年度 増毛山道トレッキング事業《積算根拠》

収入	参加料	初級 @3,000円×10人、中級 @5,000円×15人、 上級 @5,000円×15人	180,000
	市補助金	地域自治区振興補助金	260,000
	自己財源		80,000
	計		520,000
支出	需用費(印本費)	用紙代	6,000
	需用費(消耗品費)	消耗品費	223,000
	需用費(参加賞)	温泉入浴券 @500円×40人	20,000
		地元特産品	15,000
	役務費(手数料)	ガイド代 @8,000円×1人×1日+上級2名×2日、@5,000円×4人×3日	100,000
	役務費(手数料)	受付代行手数料	30,000
	役務費(保険料)	旅行保険 @400円×40人+@400×15人(ガイド)	22,000
	使用料(車借上料)	送迎車両借上げ マイクロバス3日	104,000
計		520,000	